

令和7年度 第3回新潟北警察署協議会議事概要

開催日時	令和7年12月19日（金）午後2時00分から午後4時10分まで		
開催場所	新潟北警察署講堂		
出席者	委員 (定数7人)	高橋会長 小池副会長 伊藤委員 江戸委員 佐藤委員 南委員 (副会長以下50音順)	計6人
	警察	麩澤署長 高澤副署長 坂口警務課長 寺崎生活安全課長 新保地域課長 齊藤刑事課長 南波交通課長 渡邊警備課長 森谷会計課長	計9人
	公安委員	斎藤委員	

管内の治安情勢

署長から、令和7年10月末現在における管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組推進

(1) 安心感を高めるための街頭活動の推進

ア 「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間・全国地域安全運動期間」中において防犯広報活動や金融機関等の警戒を行った。

イ 制服警察官による積極的な街頭活動を行うとともに、熊の目撃情報を受けて、関係機関と連携した警戒活動、安全安心メールの配信などを行った。

ウ 周辺自治体・町内会・住民などと連携し「東港地区クリーン作戦」を行い、清掃活動を行った。

(2) 特殊詐欺等の犯罪被害防止対策の推進

ア 関係機関と連携し公共施設などで国際電話利用休止申込みブースを設置して申込の促進活動を行った。

イ 各種会合や研修会において特殊詐欺等に関する防犯広報や講話を実施したほか、詐欺を未然防止した店舗等に表彰を行った。

ウ 詐欺撲滅のため「お金の話 うまい話は詐欺!!」を呼びかける懸垂幕を作成し

署前に掲出した。

2 交通事故防止対策の取組推進

(1) 高齢者対策の推進

ア 「高齢者交通事故防止運動」に伴い、年金支給日のシニア安全強化日前後に商業施設や公共施設において、高齢者事故防止及び特殊詐欺等の被害防止を呼び掛けるとともに、地域におけるイベントにおいてチラシや反射材の配付を行った。

イ 県下一斉交通死亡事故シャットアウト緊急対策に伴い、商業施設において隣接署や行政機関と連携しチラシや夜光反射材の配布・貼付を行った。

ウ 管内に居住する高齢者を対象に、自動車学校において実技講習と安全講習を行った。

(2) 各種事故防止対策の積極的な推進

ア 11月に管内で交通死亡事故が発生したことを受け、関係機関と連携し高齢者宅を対象とした訪問活動を行い、交通指導と夜光反射材などを交付し交通安全を呼び掛けた。

イ 「冬の交通安全事故防止運動」に伴い、関係機関と連携し通学路における街頭広報や飲食店訪問による飲酒運転の防止広報等を行った。

ウ 全国的に社会問題となっている道路運送法違反（いわゆる「白タク」行為）について、警察本部関係課と連携し、管内の新潟東港において被疑者を現行犯逮捕した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組推進

(1) 安心感を高めるための街頭活動の推進

(2) 特殊詐欺等の犯罪被害防止対策の推進

2 交通事故防止対策の推進

答申

新潟北警察署協議会として協議・検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

1 熊の出没に対応するチャート図を作成しているとのことであるが、企業に情報提供はしているのか。

○ 企業にチャート図は配布していませんが、目撃情報を認知した場合は速やかに関係機関と連携し現場付近におけるマイク広報やパトロールを実施しているほか、報道発表やメール配信の検討も行っていきます。

2 自動車学校において高齢者向けの講習を実施したとのことであるが、警察独自の取り組みなのか。今後は広く広報してもらいたい。

○ 今回紹介した講習は新潟市が主催しているもので、当署が市と連携しながら開催しました。今後も関係機関と連携して更に多くの方に参加していただけるよう働き掛けていきます。

3 豊栄駅前的一方通行規制で不要と思われる場所があるが解除できないか。

○ 指摘のあった場所については、昨年から関係機関と協議を行ってきましたが、地元住民との合意形成に至りませんでした。規制を解除することで交通事故が多発するとの懸念もあることから、今後も協議を続けていくこととします。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

その他 ～ 警察署協議会の開催状況写真 ～

1 動画KYT（危険予測トレーニング）の体験実施

(1) 実施日時

12月19日(金) 午後2時から午後2時30分までの間

(2) 概要

交通企画課員が講師となり、スクリーンに投影された仮想の道路交通環境を活用し、安全運転に必要な危険予測能力を高め、交通安全意識を向上させることを目的とした教育装置を体験し、警察活動への理解を深めた。



2 警察署協議会の開催状況写真

